

1 新年度予算編成の基本方針と重点施策について

- (1) 新年度予算編成の基本方針、重点施策、新規・拡充施策及び廃止や縮小する事業について、どう進めて行くのか方針を伺う。
- (2) 磐田市民文化会館について
 - ① 現市民文化会館の著しい老朽化により使用者に迷惑をかけている実情があると聞いている。施設管理上やむをえず来年度中の閉鎖を予定しているが、代替え施設として竜洋なぎの木会館、アミューズ豊田ゆやホールを挙げられたが、規模や年間計画が心配になるがどのように考えているのか伺う。
 - ② 今後の修繕の計画について伺う。
 - ③ 施設利用者との話し合い、周知について伺う。
 - ④ 代替えとなる施設との連携について伺う。
- (3) 中期財政見通しでは、2019・20年度に大型事業が集中している。予算規模も大きくなる見通しであり、(仮称)磐田市文化会館が約60億円、ながふじ学府小中一体校整備に約67億円の事業費が報告されている。
 - ① 坪単価等で類似施設との比較を伺う。また、どのくらいのレベルか伺う。
 - ② 人口減少や高齢化等の課題が山積みする中で、公共施設の建設は、少しでも低コストを求めるべきと考えるが市長の考えを伺う。また、そうした検討の予定があるのかも伺う。
 - ③ 耐用年数をどのように考えて設計をされているか。また、建物・設備の減価償却、ランニングコストの考え方を伺う。

2 まちづくり・人づくり・仕組みづくり

(1) 自立した地域づくりに向けた取り組みの強化

- ① 各地域には、地域づくり協議会・自治会・地区社協などの各種組織が存在している。役員を兼任して活動されている方も多いようなことも聞いているが、各種組織の見直しと再編成の考えを伺う。
- ② 地域づくり協議会の機能を充実することや、市民活動団体を支援すること等で、地域や市民の自立を促すことを基本となるように、自治基本条例の制定に向けた検討状況を伺う。

(2) 住宅供給の現状調査と空き家対策について

- ① コンパクトシティの推進に当たり空き家問題の対応と並行して住宅供給過剰の把握が必要と考える。磐田市における住宅総数と世帯数の現状について伺う。
- ② 民間住宅の開発や私有地の売却による定住促進を進めているが、住宅供給過剰の問題はないか伺う。また、空き家の再活用と矛盾しないか？検証が必要と考えるが、市長の考えを伺う。
- ③ 今年発生した台風21・24号において空き家の危険性が明らかになった持ち主の確認等、現状把握や法整備の状況を踏まえた危険防止対策の検討実施の考えを伺う。

(3) 社会的弱者に対する支援の強化について

- ① 生活保護、若者のひきこもり等を含めた、生活困窮者に対する学習支援や就労支援の充実について考えを伺う。

(4) 特別な理由による任意予防接種費用の助成制度新設について

- ① 小児白血病の骨髄移植による治療などで、免疫が失われた場合には、乳幼児期から治療までに受けた予防接種の一部または全部を再接種しなければならないケース事由がある。そうした場合における再接種費用の助成制度が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

3 子育て、教育全般について

(1) 義務教育の質の向上

- ① 教員の超過勤務時間の削減に向けた取り組みについて伺う。部活動に関する負担軽減のために、指導員制度を実施しているが、中学校部活動の社会体育化、クラブ化等の検討はされているか。また、中体連との関係を現状どう思っているか伺う。
- ② スポーツ部活事業も3年、県の補助を受けて、ラグビー、陸上を実施してきた。評価、課題について伺う。また、県の補助がなくなるが、新年度引き続きスポーツ部活として継続される考えを伺う。
- ③ 平和事業として実施している小中学校の広島平和記念式典参加事業は、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを風化させてはならないことを小中学校時代にわかってほしいと願う事業であると考えている。全ての児童、生徒に同じ体験をさせる更なる総合学習の推進、充実につなげるため修学旅行の見直し、または広島平和記念式典時に登校日を設定しTV視聴するなどの考えについて伺う。

(2) 市内小中学校の電話を固定電話から企業でも使用しているIP電話（携帯）への切り替えの考えについて伺う。

4 防災・環境への対応、対策について

(1) 防災対策の充実

- ① 防潮堤建設整備について現状の丁寧な経過説明、報告が必要と考える。これまでの対応、経過や今後の動きについて伺う。
- ② 防災ファイルは全戸に配布されている。活用の啓発周知について伺う。また、防災ファイルは差し込み可能となっている。ファイル差し替え時に活用の啓発を行い災害発生前、災害発生時に有効的に活用をする取り組みの考えを伺う。

(2) 環境対策の推進

- ① エコアクション21の推進など環境問題への積極的な取り組みを行っている。様々な環境問題等で、異常気象が叫ばれている昨今、今夏の猛暑による教育環境の対応策として小中学校へのエアコン設置は県内では喫緊の課題となっている。電力使用量は今後ますます増加することが予想される。猛暑対策と並行して環境に配慮した市でも実践しているミストシャワーや緑のカーテンの更なる普及や官民協力による節電や省エネルギー対策の取り組みが必要と考えるが市長の見解を伺う。

(3) 電線・電話線の地中化工事の早期開始について

- ① 台風・暴風、地震における電柱の倒壊、停電を最小限にするため、磐田市としての方策を伺う。

(4) 公共施設の倒木対策について

- ① 台風による倒木被害が今年続いている。この倒木被害をどのように分析しているか伺う。また、対策として思い切った剪定もしくは伐採などを行うべきと考えるが、見解を伺う。